

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

## アサリ漁場造成



湧別あさり礁環境保全活動組織は、7月23日～8月8日までのうち6日間、サロマ湖のアサリ浜地区にあるアサリ礁4工区のうち1工区21,000㎡を、会員延べ84名で耕耘しました。

このアサリ礁は、平成8年に漁場造成し、母貝移植と種苗の放流を行ってきましたが、平成11年の記録的猛暑の影響による大量へい死が発生し、平成14年以降の水揚げ量は減少しました。

今年から北海道環境・生態系保全対策協議会からの交付金を受けて、全ての工区84,000㎡の耕耘と稚貝等沈着促進活動を行ないます。これにより、干潟の底質を好氣的に改善し、アサリが生育しやすい環境をつくり、アサリ浜地区の名にふさわしい水揚げとなることが期待されます。

## 漁業体験学習

湧別漁業協同組合青年部は、7月14日に上湧別中学校2年生48名に地引網作業等を、22日は湧別中学校2年生36名にホタテガイの耳吊り作業等を指導しました。湧別中学校の際は、ホタテガイの水揚げ・洗浄・貝むきまでの一連作業を行った後、炭焼きにして食べてその鮮度と甘味を実感しました。

佐呂間町では、7月19日に小学生の親子など総勢約40名の参加を得て、子育て講座「われらは海の子～エビ・ほたて編」を行いました。地元漁業者の協力によって漁船に分乗してホッカシマエビ捕獲籠やホタテガイ養殖施設を見学した後、貝剥きをして生貝柱を堪能。下船後は、プロの調理人による帆立の野菜炒めやえびのチリソース煮などの調理を見学して、その後美味しく頂きました。



北見市でも、9月11日に親子38名の参加を得て、「水産業学んでなっとく」事業を実施しました。事業では、日吉ふ化場、さけ・ます捕獲所を見学した後、サロマ湖養殖漁業協同組合の職員によりサロマ湖での漁業について説明を受け、北海道立常呂少年自然の家でホタテの貝剥き体験と試食などを行いました。

いずれも、ホタテ増養殖発祥の地として、漁場環境を守りながら「つくり育てる漁業」を進めているサロマ湖の漁業について、見て、触れて、学んでもらうための良い機会となりました。

# まさかの災害へ備えて

6月11日、湧別町登栄床地区で防災訓練が行われました。この訓練は、根室半島沖で地震が発生し、オホーツク海沿岸に津波警報が発令されたとの想定によるものです。

この訓練の対策本部を設置して、地域住民の避難所となったのは、登栄床地区防災センター「浜風」です。国の強い水産業づくり交付金事業を活用し、本年2月、短期間の避難生活にも対応できる災害時支援施設として湧別町が建設しました。

避難訓練では、対策本部会議が開催され、地域住民に避難勧告を発令。防災無線などを通じて避難勧告を知った地域住民214名が避難し、いつ起きるか知れない災害への防災意識を新たにしていました。



## イベント情報

ゆうべつ大漁みなとまつりが7月17・18日に開催されました。17日は、前夜祭としてバンド演奏や歌謡ショーに続き花火大会が開催され、約3千発の花火が新湧別町の誕生を記念して夏の夜空を美しく彩りました。

18日は、大漁旗を揚げた漁船の海上パレードで開幕し、浮き輪にまたがり海上でのスピードを競う恒例の水の上むかでレースや北海しまえびのつかみ取り、特別企画として漁船試乗無料体験、ほたての浜焼き・毛ガニの鉄砲汁の無料提供などもあり、過去最高の来場者を呼ぶ盛り上がりでした。



今後は、10月3日に2010サロマ大収穫祭、10月20～23日に北見オクトーバーフェスト2010が開催されます。

発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2010.9.30

編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局

〒099-6404 湧別町栄町112番地の1

湧別町総合支所 産業振興課 水産振興室内

TEL 01586-5-3763 FAX 01586-5-2283

E-mail sangyo@town.yubetsu.lg.jp

